

## 2023 年度 事業報告

社会福祉法人 パプテスト心身障害児（者）を守る会  
理事長 宮崎信義

2023 年度年間主題として「重症児（者）と共に歩む人々の健康と生き甲斐を求めて」、更に開園祭テーマとして「重症児（者）と共に安全・安楽・安心に努める」を確認して1年間の目標として参りました。

しかし世界史的に見ても2023年度は、2020年4月7日に始まる「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」のパンデミック（世界的流行）に伴う「緊急事態宣言」（1回目）が7都府県に発令（第一波）されて以来、2022年11月に第8波、2023年5月5日にWHO＝世界保健機関からは新型コロナウイルスの感染拡大を受けて出していた「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了すると発表されました。日本に於いても5月8日には新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、以来「第〇波」とは公式に発表されていませんが、3年から4年を経過しても未だに終息されていないという緊急事態の途上で経過いたしました。久山療育園においては、感染対策委員会での協議・確認された方針を周知徹底し、ひたすら感染防止に努め重症心身障害児（者）やご家族、職員、ボランティアの方々の健康を守ることに集中して参りました。また世界における社会情勢についても、2022年2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻を開始し、2023年2月6日にはトルコ・シリア大地震が発生し1ヶ月で5万1000人以上が死亡するという痛ましい災害がありました。このように感染対策上も安全対策上も緊張感が持続した1年間だったと思います。

久山療育園では、「危機の時代」にあっても尚、創立の理念を継承して行くことを再認識しています。先に述べましたが、2024年3月までに策定を義務化されている「事業継続計画」（BCP）を実施することが現実的な重要性を帯びてきています。